

長者原の人々の活動

くじゅうでは、何千年もの間、人々が暮らし、農業を営んできました。飯田高原長者原の特徴的な草原、湿原、原生林は、人によって、耕され、保護されてきました。

くじゅう連山の草原は、木が繁茂するのを草刈り、野焼き、放牧などの方法で防ぐために、人が介入し、積極的に草原を保全しています。このような活動のおかげで、多数の珍しい、独特な植物や動物が、この重要な生態系で繁殖できています。そのため、長者原は、観察、植生の調査、外来種の駆除、または野焼きとして知られる春の焼き払いによる、植物の新たな成長の促進などを通して、この地域の植生や自然環境を調査するのに理想的な場所となっています。

地元住民は、火山の元で暮らすすべを身につけ、この地形の特色をうまく活用し、長者原や阿蘇くじゅう特有の文化を発展させてきました。地元の人々は、この地域の泉の純水や地熱エネルギーを料理、飲料水、入浴などに利用することで、その恩恵を得ています。豊かな草原を利用して、家畜を育て、農作物を栽培しています。何千年もの間、このような暮らしが育まれてきました。地域一帯で、母なる自然との共生を見ることができます。